



輝く
恵那人

239人目



武並町竹折美濃

西尾 昇真さん (17歳)

□プロフィール

武並町在住で中京高等学校3年生。軟式野球部で副キャプテンを務め、ポジションはセカンド。趣味は漫画を読むことで、特にワンピースやキングダムがお気に入り。



▲バッターボックスに立つ西尾さん

8月25日から30日まで行われた、第69回全国高等学校軟式野球選手権大会。この大会で3年連続優勝を飾った中京高等学校の軟式野球部で、副キャプテンを務めたのが西尾昇真さんだ。西尾さんはこの大会にレギュラーで出場。打順は3番を任された。個人成績は大会を通して15打数7安打と大活躍。3割以上が一流と言われている打率は4割を超え、チームの勝利に貢献した。

大会は、1回戦の興國高等学校（大阪府）との試合がターニングポイントとなった。1回裏で中京高等学校が3点を先制するも6回表で2点を返されピンチに。一つのミスも許されない緊張感の中、粘って勝利。この試合で勢いをつけ、見事3連覇を果たした。

大会でチームの優勝に貢献した西尾さん。輝かしい活躍の裏には日本一になりたいという強い気持ちと日頃の努力があった。西尾さんは小学2年生から軟式野球を始

め、中学3年生の頃、県選抜チームで活躍。その活躍が中京高等学校の監督の目に留まり同校に進学した。大学進学を目指す特進選抜に所属する西尾さんは勉強にも励み、毎日7時限目まで授業を受けた後、午後5時頃から部活に途中参加。バッティングやノックなどの練習をチームで行い、その後、守備を強化するための自主練習に打ち込んだ。大変だということもあったが、仲間と共に「日本一になりたい」と毎日努力したことが全国制覇につながった。西尾さんは「日本一になれて幸せ。厳しい練習が報われた」と大会優勝を振り返る。

全国大会が終了し、軟式野球部を引退した西尾さん。現在は大学進学のため受験勉強に励んでいる。「今までの経験を生かし、大学でも野球を続けたい」と新たな未来を描く西尾さんは、野球と共にこれからも夢に向かって成長し続けていく。

日本一になれて幸せ 厳しい練習を乗り越え叶えた夢



その他の話題もウェブサイトに満載

News & Topics まちのわだい

10/5

41人の「発酵食品ソムリエ」
新に誕生



発酵食品の魅力と知識、歴史や文化などを学ぶ第8期「発酵の学校」が修了。全12回のカリキュラムを終えた受講生には、同校の小泉武夫校長から「発酵食品ソムリエ認定証」が授与されました。今回の修了生を含め、市内のソムリエは計101人になりました。



9/21-22

恵那の秋を堪能
ENAみのじのみのり祭

恵那駅周辺で2024ENAみのじのみのり祭が行われました。本年も2日間の開催で、ダンスなどのステージイベントや恵奈の次米献納パレード、五平餅を自分で焼いて食べる「五平フェス」などの催しがあり、約7万人の来場者が恵那の秋を楽しみました。

10/19

まちなか市、栗フェス、
コーヒーフェスでにぎわう



恵那駅周辺で栗フェス、まちなか市、コーヒーフェスが同時開催され、約1万5千人が訪れました。栗フェスでは38店舗が出店し、栗好きを魅了するさまざまな商品を販売。まちなか市では小学生が自ら作った商品を販売する「ジュニア・エコノミー・カレッジ」も行われました。

10/16

山岡小・中学校の生徒らが
イタリア音楽を堪能



山岡農村環境改善センターで、イタリアのアンサンブル・クラシカ・トリオと声楽家の岡田如実さんによる音楽鑑賞会が行われました。参加した小木曾暖希さん（山岡中学校3年生）は「童謡などを聞けて楽しかった。踊りたくなるような楽しい音楽でした」と感想を述べました。

10/23

東美濃初の快挙
牛「あお号」優等4席を受賞



県内の肉用牛の品評を行う第23回岐阜畜産共進会種牛の部で、東美濃地域で初めて優等4席を受賞した株式会社矢作牧場（上矢作町）が受賞報告を行いました。同牧場の林完武さんは「地域を代表して出場し、結果で感謝を示すことができうれしい」と話しました。

10/22

恵那南中学校開校に向け
恵南地区の5校が交流



恵那南中学校の開校を見据え、恵那南地区の中学校5校の1年生が山岡中学校に集まり、交流会が行われました。交流会では、グループに分かれてゲームを行った後、山岡中学校の生徒が校舎内を案内しました。恵那南地区では今後もさまざまな交流行事を予定しています。